

「将来ビジョン」に向けて（1）

検討会議での意見

人づくり

- ・学力・体力全国トップクラスの維持、向上
- ・多様な価値への柔軟な対応
- ・幼少時からのふるさと教育
- ・キャリア教育の導入
- ・教育での様々な生徒評価軸の導入

元気なコミュニティづくり

- ・希望を求める積極的なアクション
- ・共働き標準社会の構築
- ・高齢者標準のコミュニティづくり
- ・女性の負担を軽くし、力を活かすコミュニティづくり
- ・福井型介護・医療政策づくり

環境

- ・温暖化への対応
- ・CO₂削減の方向性
- ・マイナス成長を受け入れる社会の構築
- ・環境と両立する生きがい農林水産業
- ・環境産業の振興

課題の方向性

- ・福井の優れた教育をさらに強化し、全国へ発信
- ・ふるさとに対する幼少時からの愛着、誇りを育てる教育
- ・社会に出たとき必要とされる多様な能力を鍛える教育

- ・三世代同居や近居、共働きなど福井の特長を活かすコミュニティづくり
- ・高齢者の元気を増やし、女性の負担を軽減して、地域につながる仕組みづくり
- ・地域を離れずに受けられる介護や医療

- ・家庭、企業に重点を置いたCO₂削減、物を大事にする心の醸成など、新たな県民活動
- ・生物多様性と環境負荷の低減に視点を置いた農林水産業
- ・環境を地域産業に結びつけ構造転換

政策・戦略の方向性（例）

攻めの教育と地域への誇り教育の確立

- すでに日本一の学力・体力をさらに高めるために、サイエンス教育、漢字力、英語力を強化するとともに、国体の開催に向けた体力のさらなる向上
- 「家庭教育」「学校教育」を通して、子どもたちが希望を持てる新しい教育システムの確立
- 世界を知り、ふるさとを愛し、誇りをもち、そして貢献する意識を醸成する「ふるさと教育」を充実
- 自らをアピールする積極性、コミュニケーション能力やアイデアの創出力を高める「キャリア教育」の充実

新活力コミュニティへの挑戦

- 福井の強みである地域のつながりを高め、高齢者同士、また高齢者と子ども、女性と子どもをつなぐことによる生きがいや希望の創出
- 地域力を活かし、一人暮らし高齢者に対する見守りや心のケアを行う人材を地域の中で育てる「福井型高齢者ケア対策」
- 女性の負担を減らすため、在宅型医療・介護サービスやICTを活用して医療機関と家庭をつなぐ高ネットワーク医療・介護サービスの普及
- 子どもから高齢者、妊婦、障害者までがバリアフリーの中で暮らせる「ユニバーサルデザイン」の地域づくり

環境と産業の共存

- 豊かな福井の水、多様な生物体系、美しい自然景観を守り育て、食べ残しの削減や古本の再利用などによる物を大切にする心の醸成など、総合的な県民運動の強化
- 福井型エコ農業の振興と緑のバイオマス資源の有効活用
- リデュース（発生抑制）、リユース（再利用）など環境負荷の低減に資する新たな事業活動への転換促進
- 地域特性を活かした自然エネルギー事業の創出や、温暖化防止への本県の貢献をアピールし、新エネルギーへの転換による産業構造を再構築

「将来ビジョン」に向けて（２）

検討会議での意見

まちづくり

- ・新幹線、高規格道路の完成による交流人口の増加
- ・県内観光の充実
- ・帰住のための基盤と制度づくり
- ・歴史的建造物や景観の活用

産業

- ・東アジアマーケットの重視
- ・アジアマーケットからの消費の取込み
- ・アジア進出拡大のための基盤整備
- ・福井の裾野産業の振興
- ・農林水産業の振興

地域主権

課題の方向性

- ・高速交通網の整備による人流の増を活かした観光の振興
- ・I・J・Uターンと2地域居住の効果的な推進
- ・歴史的建造物の保存や景観を活用したまちづくり

- ・福井の産業の東アジアへの展開を強力に支援
- ・裾野産業である繊維・眼鏡・電子デバイスなどの高度化
- ・農林水産業の高付加価値化を進め所得を増加

- ・地域主権とは国の変化が直接地方に及ばない仕組み
- ・地域主権にブランドや誇りが加わり、ふるさと主権へ進化

政策・戦略の方向性（例）

定住新時代を開拓

- 新幹線、高規格道路の整備を契機として、民と官の協力により「地域営業力」を高め、県外からの観光宿泊者数を増
- ふるさと福井における「I・J・Uターン起業」をめざす人材の増、新規創業の支援、企業誘致により、都会に出た若者がI・J・Uターン就職できる新しい雇用の場の創出
- 古民家と農業を結びつけた「福井型2地域居住」の基礎整備や歴史的建造物や景観を活用した「歴史文化にぎわいまちづくり」

アジアの人材・産業拠点の構築

- アジアで活躍する福井の企業の拠点、そしてアジアと日本を結ぶ人流・物流の拠点として敦賀港を整備
- 福井を含む第二の観光ゴールデンコースの構築などアジア富裕層の観光意欲を引き出し
- オンリーワンの技術や製品、サービスの開発による国内外の市場の創造、新ビジネス展開を支援
- 原子力関連企業の誘致や人材の集積を図り、“原子力産業の拠点ふくい”を構築
- 農林水産業を商工業と結びつけ6次産業化することによる農林水産業者の所得増

ふるさと主権の提唱

- 国と地方の関係が変化する中で、福井ブランドや県民のふるさとへの誇りを基礎として「地域主権」を確立し、国の変化が地方に直接影響しない自立した「地方のかたち」を実現
- 地方の豊かさ、人と人のつながりに根ざした新しい地方自治のモデルを創り上げ、地方から「国のかたち」を変えていく「ふるさと主権」への進化